



# こがくらだより

第1号

令和7年 4月 9日  
長崎市立小ヶ倉小学校  
校長 桐山 充晴

【学校教育目標】自ら考え、判断し、人と共により良く生きようとする心豊かな子供の育成

## ごあいさつ



桜の花が美しく咲いて今年も春が訪れました。小ヶ倉小学校の令和7年度が始まりました。3月の卒業式では、保護者の方に見守られながら卒業生29名が夢と希望に向かって本校を巣立っていきました。保護者・地域の皆様をはじめ、卒業生を6年間支えていただいた大勢の方々に感謝申し上げます。

さて、始業式では、5名の転入生を迎えました。本日は、新入生32名が仲間入りし、令和7年度は、全校児童175名でのスタートとなりました。また、5名の教職員を迎え、職員体制も新たになりました。さて、新入生はもとより、初日（始業式）には、それぞれ進級した在校生も新たな出会いにワクワクとドキドキを胸に、特別な思いで校門をくぐったことと思います。子供たちには、一年間の学校生活を通して、たくさんのことを経験し、その経験を成長に結び付けていってほしいと願っています。そのために、是非、「新たな気持ち」を意識して、令和7年度のスタートを切ってほしいと思っています。気持ちが新たになると、発見があります。今まで気付かなかった友達の良いところが見えてきたり、当たり前のように感じていた家族の温かい思いを再確認できたりします。何よりも新しい自分に出会うことができます。新しい気持ちで、友達や先生との出会いを大切にしながら楽しい学校生活を送っていくことでしょう。

今年度も一人一人が安心して過ごせる学校づくりと夢や思いを語ることができる子供、自分や友達が大好きな子供を全教職員で育てていきたいと思っています。引き続き、今年度も保護者の皆様、地域の皆様の温かい励ましと御理解・御協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

私の学校経営の柱は「子供が主役」の学校です。すべての判断基準の第一は子供です。常に、「これは子供にとって良いことなのか、最善なのか」と考えられる小ヶ倉小学校であり続けたいと思っています。令和7年度本校のテーマは『考動(こうどう)』と「子供を『育てる』学校から子供が『育つ』学校へ」です。子供の輝く瞬間を見逃さない教職員集団でありたいと思います。

## 令和7年度 小ヶ倉小学校スタッフ

令和7年度は、教職員の人事異動により、5名が新たに加わるようになりました。詳細については、7日（月）に配付した文書を御覧ください。

### 【小ヶ倉小学校スタッフ】

一日一日を子供の成長にとって大切な時間の積み重ねだと考え、充実した一年間にしたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校3年目になりました、校長の桐山でございます。25名のスタッフ共々、お世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



裏面あり

毎回お願いしていることですが、学期始めのこの時期に、子供たちと話してほしいことを記します。

- 1 **夢をもつ**（実現が難しそうなものでも可）  
子供たちにとって夢をもつことは大変大切です。自分の夢をもち、意識することで、物事に対する取組が少しずつ変わってきます。
- 2 **目標を決める**（具体的に組み立てること）  
4月の子供たちは、入学・進級の喜びを感じています。その時が**チャンス**です。その目標に向かって**チャレンジ**していくことで毎日が充実します。  
この目標は、小さなもので構いません。小さな成功体験を積み重ねることで自信がつかます。小さな成功をたくさん褒めてください。
- 3 **命の大切さ**  
多くを語らずとも、一番大切です。

#### 【通学路確認について】

毎年、本校では、担任等が児童の通学経路や危険箇所などを把握することが必要ですので、年度初めに「通学路確認」期間を設定しています。

本年度は、4月8日（火）から11日（金）までに「通学路確認」を行います。そのため、この期間は木曜日課とします（8日（火）～11日（金）は全学年5校時授業となります。）。

※1年生は11:10頃、2～6年生は13:30頃下校予定

#### 【個人面談について】

今年度も、4月と12月に「希望制」での面談を行います。7日配付の文書でお知らせしていますので御確認ください。

#### 【家庭からの連絡についてのお願い】

児童の欠席等の連絡については、保護者の方から連絡をいただいています。今年度もteturuでの連絡をお願いします。午前7時30分から8時頃までの間に御連絡ください。

#### 【電話対応時間について】

以前から「小ヶ倉小学校のくらし」でもお伝えしていましたが、本校では、外部からの電話については、以下のとおり対応させていただきます。御理解と御協力をお願いします。

平日（木曜日を除く）：7時30分～18時

木曜日（定時退庁日）：17時30分まで

#### 【特別支援教育について】

今年度から、特別支援学級の指導においては、チーム担任制を導入します。学級の枠を取り外し、児童の発達段階等に応じて、担任を固定せずに指導にあたります。

なお、連絡調整が必要な場合は、それぞれのお子様の主担当までお願いします。

## 「育つ学校」について

今年度のテーマは、「子供を『育てる』学校から子供が『育つ』学校へ」です。

教師が「教える」授業から子供が「学ぶ」授業への転換を図ることを意図しています。

これは学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」や「令和の日本型学校教育の構築」（※中教審）で示されている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実のために必要な、授業改善の大きな柱となる考え方です。そうした背景を踏まえ、本校では『子供を「育てる」学校から、子供が「育つ」学校へ』という価値観の転換に取り組めます。

そこで様々な学習活動場面において、子供に「委ねる」場面を増やしてきています。「委ねる」とは子供の力を「信じる」ことです。「学校はこうあるべき」「〇〇はこうすべき」という大人の「正解」を示すのではなく、子供が「正解のない問いにチャレンジする」ことに重きを置きながら、教職員全体で子供と向き合っていきます。これが「正解」という発想ではなく、さしあたりの「納得解」。「今回はこうだったけど、次回はもっとこうするとよりみんなが楽しめるね」といった未来志向に意識が向けば、主体性が育ってきた証だと考えています。こうした姿が「子供が『育つ』学校」のイメージです。

もちろん、全てを子供たちに委ねるということではなく、教えるべきところは教え導きます。「教える場面」と「考えさせる（委ねる）場面」の区別が大切となってくるわけです。「先生（ティーチャー）」としての「ティーチング」だけでなく、時折「ファシリテーター」や「コーチ」としての役割を果たしつつ、様々な活動を仕組んでいきます。子供たちにとって、よりよい学びの場となることを目指します。御支援よろしくお願いいたします。

※：中教審とは文部科学大臣の諮問機関で中央教育審議会のこと



令和7年度 着任式・始業式の様子